



Global Studies Initiative
The University of Tokyo

グローバル・スタディーズ・セミナー
「グローバル・スタディーズの課題」シリーズ

第12回

「グローバル・スタディーズ研究教育 拠点の設置と政治社会学的実践」

和田 毅 総合文化研究科 地域文化研究専攻 教授

司会 國分功一郎 (総合文化研究科 超域文化科学専攻)

討論者 田辺明生 (総合文化研究科 超域文化科学専攻)
伊達聖伸 (総合文化研究科 地域文化研究専攻)
馬路智仁 (総合文化研究科 国際社会科学専攻)

使用言語 日本語

日時・会場

2021年4月27日 (火) 14:55 - 16:40

Zoom Webinar (下記URLからご登録ください。)

<http://bit.ly/3eSIgVo>

要旨

2018年から2019年にかけて、総合文化研究科・教養学部でグローバル・スタディーズの研究教育拠点「グローバル・スタディーズ・イニシアティブ (GSI)」とその国際卓越大学院プログラムGSI WINGSが誕生した。両設立に携わった者として、この機会にその経緯を紹介し、駒場におけるグローバル・スタディーズの理想と現実、新鮮さと陳腐さ、可能性と限界について考察してみたい。GSI設立の際には、「グローバルな俯瞰力」と「世界諸地域の言語・文化・歴史理解に基づくローカルな視点」とを結びつけることによって「新たな人文社会知の創造(=グローバル・スタディーズ)」を実現するという主張を展開したのだが、これを実践するのは並大抵のことではない。報告者自身、ラテンアメリカにおける社会運動の研究を志した学生の頃から、両視点の狭間で揺れ動いてきた。最終的にリレーショナル・イベント分析という研究アプローチにたどり着くことになるのだが、この過程を振り返りながら、グローバルとローカルをつなぐ際の難しさが具体的にどのような形で生じるのか、それは解決できる問題なのかどうかを探求する。